



芋掘り



1月18日冬晴れの中、庭で育てたじゃがいもの収穫日を迎えました。「じゃがいもを掘りに行こう～」と伝えると、初めはきょとんとした表情の子ども達でしたが、大きく成長した葉や茎を見ると、何が始まるのかワクワクしている子もいれば、緊張している子など様々でした。土の中からじゃがいもが出てきた時にはどんな表情を見せてくれるのか、私も楽しみにしながら「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声と一緒に茎を引っ張ります。じゃがいもが出てくると子ども達はびっくりしています。「じゃがいも獲れたね」と言うと、手に取ってじっと見つめ「じゃがいも！」と嬉しそうにしていました。後日、このじゃがいもを使っておやつ会をしました。

保育士 照井 美紀



ひなまつり会



素敵なお段飾りのひな人形が飾られた華やかな雰囲気の中で、ひなまつり会を行いました。「おのりちゃん」のダンスを少し恥ずかしそうに職員と踊る子、楽しそうにボンボンを持って踊る子と様々でしたが、それぞれみんなかわいい笑顔を見せてくれました。桜餅やひなあられを食べたり、お雛様の前で写真を撮ったり、子ども達の足型で作ったひな人形の製作物を見たり、ゆったりとした時間を過ごすことができました。ご協力して下さいました皆さまありがとうございます。子ども達が健やかに成長しますように！

保育士 恩田 春香



3月1日に病棟13階ラウンジにてひなまつり会を行いました。初節句のお子さんの紹介をした後は、大きい子どもたちが前に出てケロポンズの「おのりちゃん」の踊りを披露しました。聴いているうちに自然と口ずさみたくなってくるような、楽しい曲です。普段のように元気いっぱい踊る子もいれば、雰囲気に圧倒される子もいましたが、周りの方々の手拍子が後押しとなり、とても盛り上がりました。ボランティアの方々による手遊びを楽しんだ後は、お待ちかねのおやつ会の時間です。テーブルを囲み、桜餅やひなあられなど季節のものを味わい、最後に皆で「うれしいひなまつり」を歌ってお開きとなりました。

保育士 藤井 佐和子



ひなまつりレシピ



やさいの手まり寿司

ひな祭りの由来は諸説ありますが、中国でおこなわれていた「上巳(じょうし)の節句」が日本に伝わってきたという説が有力です。もともとは邪気や厄を払うための行事で、人形に自分の邪気をうつして川に流すという「流し雛」が行われていました。時代とともに流し雛に使用する人形が立派になり、川に流すのではなく家に飾るようになりました。これがやがてひな人形となり、貴族の中で流行っていたおままごと遊びのような「ひひな遊び」と合わさって、ひな祭りになったといわれています。ひな祭りでは、ちらし寿司や蛤のお吸い物を食べてお祝いをするのが一般的です。今回はお子さまが食べやすいように手まり寿司にしています。今年のひな祭りは終わってしまいましたがラップで包んで丸くするだけなので、来年は是非お子さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。
栄養管理士 林 慶子

【材料】1人分(3個分)：ごはん 100g、人参 5g、卵 1/2個、ほうれん草(葉の部分) 5g、サラダ油 小 1/4

【下準備】

- ・ほうれん草は下茹でをし、冷水で冷まし水気を切っておく。
- ・人参は3~5mm幅の輪切りにし、桜型で抜き、やわらかく茹でておく。
- ・卵は菜箸でよく溶きほぐし、サラダ油をうすくひいたフライパンで焼き、薄焼き卵を作っておく。

【作り方】

- ①ごはんを3等分し、ラップにのせて形を作る。
- ②ほうれん草と薄焼き卵でごはんを包み、形を整える。
- ③人参をのせて出来上がり。



子どもたちの日々の様子

節分の豆まきや手作りバター・・・
楽しいことがたくさん!!



豆まき楽しいな!



スカイツリーに行ってきたよ。



シャカシャカ♪何か出来るかな~



皆で育てたじゃがいもだよ!



バターが出来たよ!
じゃがいもにつけて美味しく頂きました☺

ボランティアの皆さま、いつも心のこもったご支援ありがとうございます



当院は地域の皆さま、多くのボランティアの皆さまに支えられて共に歩んできました。今では100名の方々がボランティア登録されています。いつも変わらず、明るく、温かく、優しく、穏やかに、心を込めて活動してくださる多くの皆さまに改めて感謝申し上げます。

さて、先日 NPO 法人ハンズオン東京様にお話を伺う機会がありましたので、ご紹介したいと思います。2007年より当院へのご支援をいただいています。地域のパートナー団体のニーズを第一に、その中で何ができるのかを共に考えていくことを大切にされているとのことでした。当院ではガーデニングや環境整備、保育のお手伝い、遠足や季節行事のサポートなど、幅広いご提案をいただき、おかげさまで子どもたちの生活がたいへん豊かなものになっています。

子どもたちは多くの大人たちとふれ合い、あたたかい愛情に支えられて、すくすくと成長していきます。わたしたちはこれからもボランティアの皆さまをはじめ、地域の皆さまとのつながりを大切に、子どもたちのための乳児院でありたいと願っています。

副院長 石田晃代



心理士だより♪

～群れで生きる～

動物に詳しい方がいらしたら教えていただきたいのですが、群れで生きるものは何でしょうか？羊は漢字の通りにそうなのでしょう。一匹オオカミというのは、群れるオオカミの中で珍しいから、そう言われるとか。動物園では、猿山のサルたちが順位を守って群れている様子。ペンギンが肩寄せ合っている写真を見たり、共同で子育てする話を聞いたりしたこともあります。

人間も群れで生きる動物です。社会とかコミュニティとか言いますが、今は一人暮らしが多かったり、集合住宅でも上下階左右室の住人の顔を知らなかったり。

子どもたちに絵本を読むと、本とお友達の間をさえぎるように座る子どもがいます。長い積み木に並んでいると、隙間もないのにお尻を割り込ませてくる子どもがいます。マナーを知る段階になったら、お友達の気持ちを考えましようと思えますが、狭い場所でくっつき合い、お友達のいる所へと集まっていく子どもたちをみると、人間は本来、群れで生きるものなんだよ、と教えられたように思うのです。



心理士 柴田薫

【苦情等相談窓口について】

当院への苦情は、師長代理、第三者委員又は当院玄関に設置してありますご意見箱（乳児院事務室前）までお願い致します。

苦情解決責任者：乳児院院長 山中一郎

苦情受付担当：看護師長代理 小泉菜穂子

第三者委員：須藤久美 川原邦子



【編集後記】

少しずつ寒さが和らぎ、春の訪れを感じられるようになってきました。子ども達とたくさんの春を探しに行きたいです。

N. T

すくすく 第67号 2019.3.31. 発行
発行人 山中 一郎 編集委員 小泉 菜穂子
山崎 友絵 小長谷 香利 武田 典子 進藤 美智子